

展覧会タイトル

「月」をキーワードとして、
月に同じくしたイメージを
出し。

企画、は お泊り。

「展示テーマ」が Mission

「展示資料」は 月。
宿題。

目的は 新たな「月」の発見

展示は、その「お泊り」の、お泊り「月」の歴史、お泊り
お泊り文章に、お泊り、お泊り。
お泊り、お泊り表現に。

~~開催期間~~は、お泊り、お泊り、お泊り。

← お泊り、お泊り、お泊り。



WSのねらい

- 異業種博物館連携の可能性
- 「異」の発見 「異」からスタート
- 連携のネットワーキング

流れ

- 7月-7月内 自己紹介 7-7 45分 発表 40分

7-7

- 連携展示のプランニング
- プランは 企画シートに
- 発表は G. 形式 (模造紙)

タイトル・対象 目的 内容 図に添え
 予算 役割分担 会場 日程
 別紙あり 形式 課題
 (7月23日21日
 22日7時30分)

自己紹介

穂田氏 「創」

神保 肇
T20

田井 「拓」
U3

吉富 「護」
P3

原 「魅」
M

和山 「舞」
T0

岡野
「一」
"410人227-"

79年刊の『月』(天文)の墨本への転写に2冊2冊ある。

『月』を主本として、何か2冊ある...

人文系、半紙の系

秋山. 『月』2冊: 4冊キイワナ120

美行館で観望会?

寺島. 新刊本に複製されて、造り直し。

玉井. 旧本で、おぼろぎ字に2冊ある。

杉田. 潮の満ち引きの図は可なり。

うらぐらぐらの子と云い。

『月』を複製して可なり。

1冊 - 2冊の複製あり。7冊 - 10冊。

①タイトル 新たな「月」の発見 ① 目的

③目的 月をみる 月をみる ③ タイトル

⑤ 関連事業 ⑤

1st Stageにおける 7-7-7-7-7-7-7

77の中に月を入れて表現。
/150

② 対象 親子.

④ 内容 6月か. 1st. 月の見方の展示が必要.
 10月 2nd Ex. 展示、物アクリル
 11月 3rd. ← 1st St. の親子が来る.
 他文化に於ける月と空を
 示す。

美術行合算において.
期間 10/1 ~ 10/30

生の
「月」の観照 観察

展示物

様々な文化や
子どもに於ける月の
見方. 12/12の
解説(物)
*アクリル

1st Stage

WSとL2.



12月をあらわす

frame. 自分の感じ方の表現 → 展示物.

⑤ 11/1 ~ 11/30 準備期間 2nd Stage

12/1 ~ 12/31 「新しい月」の発見.
3rd Stage

2nd Stageの
アクリルを
展示.

加えて、様々な
自分等の図鑑
解説.

5. 予算 ほとんどばかりはない

6. ~~会場 美術館~~
関通平水. WS (1st stage)

7. 役割分担

美術館で「月」に関する特別展を開催。そこに他館の学芸員に来てもらって、人文系や、科学系の展示物を、一糸者に展示。

8. 会場 = 美術館。

9. いち押しポイント

展示物をつくらせて、見てもらい、それをさらに展示する。

10. 引っかかりポイント・課題

・「月」の出る時間の問題 (深夜?)

・天候に左右される。

・月が常に重くなるので、展示に使うときに難しい。